

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和５年度）

【 資料3 (3) 】

基本方針	市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実
------	-----------------------

1 基本施策（計画登載事項）

基本 施策	(1) スポーツを「ささえる」人材の育成・充実	・大船渡市スポーツ協会と連携し、指導者養成講習会などへの参加を促進しながら、指導者の育成・充実を図る。 ・スポーツ推進委員の資質向上や関係団体と連携し、支援を必要とする人々のスポーツ推進体制を整備。 ・講習会への参加促進を通じて、障がい者スポーツを支える指導者・ボランティアを育成。
	(2) スポーツ施設・設備の整備・充実	・人口減少や利用ニーズ、財政状況などを踏まえながら、施設・設備を計画的に整備。 ・既存施設は長寿命化を基本とし、計画的に修繕・改修を行うとともに、更新に当たっては必要性や将来にわたる負担を十分考慮して検討。 ・国の支援制度などを活用し、バリアフリー化など計画的に整備。
	(3) スポーツ施設等の有効活用	・スポーツ施設の利用者増加や効果的な運営が行われるよう指定管理者と連携を深める。 ・施設利用料の定期的な見直し。 ・学校施設の利用促進と廃校となった学校体育施設の有効活用について、地域住民などと検討。

2 基本施策の進捗状況・実績

No	基本施策・主な事業	主な取組と成果	評価
(1)	スポーツを「ささえる」人材の育成・充実 ・認定指導者助成事業 ・スポーツ少年団指導者研修会開催事業 ・スポーツ推進委員研修会派遣事業	・スポーツ少年団の活動の活性化と普及拡大を推進するため、スポーツ少年団スタートコーチ資格取得者の受講料を助成した。受講者：7人。【市スポーツ協会】 ・スポーツ少年団の指導者や育成会を対象に、体力づくりやトレーニング等に関する研修会を開催し、知識を深めた。参加者：25人。【市スポーツ協会】 ・岩手県スポーツ推進委員研修会及び東北地区スポーツ推進委員研修会に参加した。（7/7～8 花巻市 9人）【市】	専門的な指導を受けることで、スポーツ少年団の指導者やスポーツ推進委員の育成が図られた。
(2)	スポーツ施設・設備の整備・充実	・大船渡市スポーツ施設整備基本計画の中間見直しを行い、主要施設について整備事例調査等の結果に基づき、詳細工程表に掲げる項目の調査・検討を進めた。【市】 ・設備の老朽化等による不具合から、機能面に多くの課題を抱えていた三陸B＆G海洋センタープールを廃止した。【市】	市スポーツ施設整備基本計画を踏まえながら、適切にスポーツ施設のマネジメントを行うとともに、計画後期に向けた中間見直し作業を進めた。
(3)	スポーツ施設等の有効活用	・スポーツ施設の管理・運営と併せて、新春ロードレース大会とポートサイドバレーボール大会の経費も指定管理料に含め、事業実施体制の効率化を図った。【市】 ・旧日頃市中学校施設については、地区の要望を踏まえながら関係課協議を継続した。 他の閉校施設については、協働のまちづくりを進める中で、住民の意見集約や合意形成が図られるよう支援したほか、庁内の利活用意向の取りまとめなどを行った。【市】 ・空き校舎のグラウンドや屋内運動場の一時的な利用希望に対し、支障がないことを確認したうえで貸し出しを行った。【市】	スポーツ施設の効果的な運営が図られた。また、廃校施設の有効活用に向けた協議・検討を行った。

3 指標達成状況と進捗度評価

指 標	単位	基準値	実績値					目標値		達成率	達成率 区分
		R1	R2	R3	R4	R5	R5	R10			
市が主催するスポーツ指導者講習会の参加者数	人	30	0	24	24	25	35	40	71.4	b	
スポーツ施設利用の満足度	%	19.0	18.7	23.3	20.6	24.4	21.0	23.0	116.2	a	

※達成率＝目標年度の直近年度における実績値／目標値×100。達成率区分＝a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

進捗度評価
B

4 課題

【課 題】
スポーツ指導の新たな状況に対応可能な人材の確保
学校部活動の地域連携・地域移行への対応
スポーツ施設の利便性や機能性の向上
指定管理者制度によるスポーツ施設の効果的な運営
閉校した学校体育施設の利活用

5 施策・事業の方向性

【方向性】
・スポーツを「ささえる」人材への関心が高まり、求められる指導者の在り方が多様化するとともに、学校部活動の段階的地域移行が進むなど、新しい状況に対応することができるよう、研修会などを通じた人材育成に取り組む。（岩手県の委託事業として、地域クラブ活動の実践をモデル的に実施） ・休日の学校部活動の地域連携・地域移行を見据えて、受け皿となる団体の確保や人材育成に取り組んでいく。 ・大船渡市スポーツ施設整備基本計画の中間見直しに当たっては、施設の長寿命化が基本であるものの、集約化や複合化、廃止等の検討が必要であり、人口動態や財政状況を踏まえながら、中・長期的な視点により、良好な施設マネジメントの推進を図る。 ・指定管理業務について、モニタリング調査などと連動させ、コスト意識をより高めつつ、利用者ニーズに即した業務の推進を図る。 ・閉校施設については、閉校施設利活用方針と廃止公共施設等の利活用方針の整合を図りつつ、地区で利用意向を示しているものに関しては、利用形態を考慮しつつ実現に向けた調整を進める。